

乳児期の膝裏症状から治療 2 か月で皮膚状態が変化した小児アトピーの経過 (7 歳 男児)

症例 ID：001-07-NF | 記録日：2015 年 7 月 27 日

1. 診断・治療前経過

生後 3 か月頃に膝裏が赤くなり、近医でステロイド外用を受けました。その後も症状が悪化し、家族はステロイドを使わない治療を探しました。2 歳の 2010 年 7 月 13 日に松本医院を受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	生後 3 か月頃に膝裏へステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	短期間と考えられますが、詳細は不明です。
中止時期	松本医院受診前です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後 3 か月頃	発症・外用	膝裏が赤くなり、ステロイド外用を受けました。
乳幼児期	悪化	皮膚症状が続き、家族が非ステロイド治療を探しました。
2 歳・2010 年 7 月 13 日	治療開始	漢方入浴、煎じ薬、外用処置を開始しました。
治療初期	処置負担	消毒時の痛みで泣き叫ぶことがありました。
治療約 2 か月	変化	皮膚状態が見違えるほど変化しました。
その後 4 年	長期経過	症状の波に応じて治療を続けました。
7 歳時	経過後	アトピー症状はほとんどみられなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始前から初期にかけて症状が強く、消毒時の痛みで泣き叫んだ時期です。

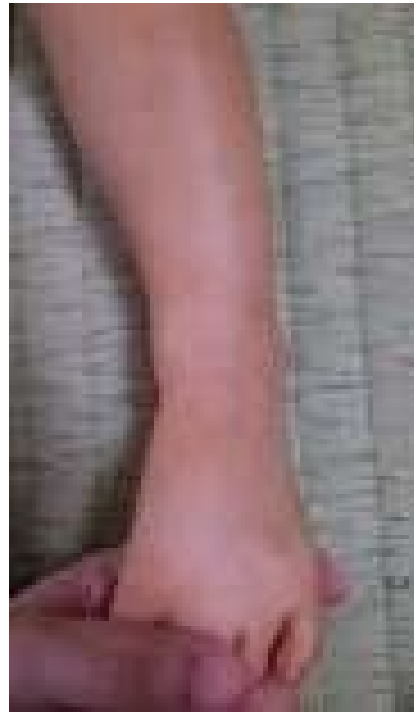
5. 困りごと

- 消毒や入浴などの日々の処置を幼児が痛がりました。
- 母親の妊娠・入院中に治療を開始し、家族の協力が必要でした。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



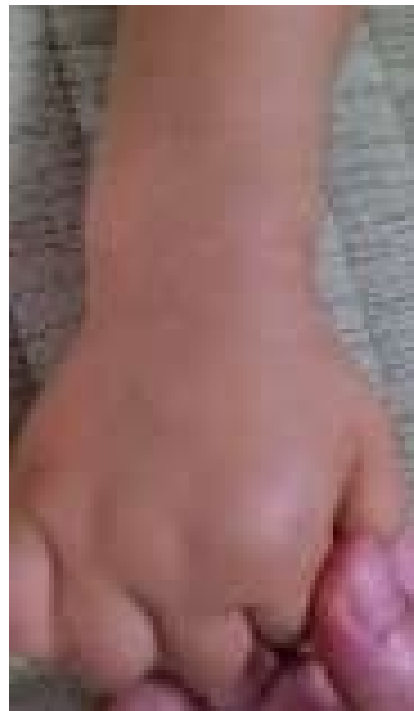
経過中の膝裏の皮膚状態。



経過中の手首・手背の皮膚状態。



経過中の肘周囲の皮膚状態。



経過中の手背の皮膚状態。

7. 経過のまとめ

治療開始約2か月後には皮膚状態が大きく変化し、その後も長期に治療を続けました。

7歳時にはアトピー症状がほとんどみられなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。